



新村の人口・世帯数
 令和2年1月1日現在
 人口 3,209人
 世帯数 1,309世帯

新年のご挨拶



町会連合会長
 山田 泰雄

新年明けましておめでとう
 ございます。皆様には、ご家族
 お揃いで新年をお迎えのこ
 とと、心からお慶び申し上げ
 ます。日頃の町会活動へのご
 参加やご協力に心から感謝申
 し上げます。

昨年は元号が「平成」
 から「令和」へと変わり、
 新たな時代がスタートし
 ました。近年は気候変動
 により災害が多くなり、
 長野県でも千曲川の氾濫
 などがあり、防災の意識
 を高めていかなければ
 なりまん。隣組単位で



謹賀新年

の避難弱者の把握が必要で
 す。
 今年は中部縦貫道の新村地
 区関連の工事が始まります。
 新村や松本市の発展につな
 がる事を願っています。また、
 少子化が進む中、住民の皆様
 が支え合い、安全で、安心し
 て暮らせる地域づくりを目指
 していききたいと思えます。



地区の安寧を願って...

祝すとともに、地域の発展と
 暮らしやすい
 まちづくり
 をしていくた
 め、各団
 体がより一層協
 力をしてくこ
 とを改めて
 確認しまし
 た。

1月11日(土) 新村公民館
 において、恒例の新年祝賀会が
 開催されました。
 会場には14町会の役員、各
 団体役員の皆さんなど、総勢
 70名が新年を祝いました。
 開会にあたり、山田泰雄町
 会連合会会長は、昨年長野県
 を襲った台風19号被害に触れ
 「日頃の防災意識の向上や隣組
 単位での協力、要援護者の把
 握が必要」と述べられました。
 参加した皆さんは、新年を



令和に
 なり初の
 元旦マラ
 ソンが開
 催されま
 した。

令和の元旦走り初め

今回で45回を数える伝統の
 行事です。
 晴天に恵まれ風もない絶好
 のマラソン日和でした。
 号砲を合図に大人と子ども
 約50名は農村広場の周回コー
 スを気持ちよく走り、笑顔で
 元気に新しい年をスタートさ
 せました。

地域の絆大切に



脳トレでリラックス

松大生 ふれ健で活躍

毎月定例で実施している「ふ
 れあい健康教室」には松大生
 3名が授業の一環として、6月
 から参加していました。

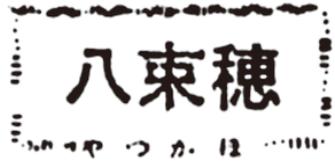
授業最後の参加となった12
 月12日(木)では、脳トレや
 手遊びを参加者の前で行いま
 した。
 参加者も学生達の初々しさに
 笑みがこぼれ、温かな雰囲気
 に包まれたひと時でした。



おかげさまで運行1,000回を迎えました

現在の日本
 があること
 を鑑みる
 と、高齢者
 に恩を返す
 のが今では
 ないでしよ
 うか。

内容は、地方紙の紙面にも載つ
 たことが有りますのでご存知
 かと思いますが、高齢者を自
 宅と医療機関や大手スーパー
 の間を送迎する活動です。送
 迎団体所有の自動車を使用
 し、運転は地区内の中高齢者
 から協力を得ています。▼少
 子化が叫ばれて幾年月が経ち
 ますが、高齢者だけの家庭が
 増え、更に子供家族と同居し
 ているケースでも、子供夫婦
 が共働きで協力を得ることが
 困難な場合も少なくありませ
 ん。このような状況下、高齢
 弱者を助けるのは、私共の責
 務ではないかと思えます。▼
 また、高齢者によって豊かな



「プチ送迎」
 をご存知です
 か。「プチ送
 迎」とは、新
 村地区で現行
 行われている
 高齢者支援活
 動のひとつで
 す。▼その内

高綱中学校と卓球交流



ラケットを握れば、熱くなります。

校庭の銀杏黄葉散る11月15日(金)3年3組の生徒と、新村卓球部3名、公民館職員2名で、去年と同じく卓球で交流会を行いました。試合は3チームによる団体戦で行われ、結果は勝敗数が同じで引き分けとなりました。ラケットを初めて持つ生徒がはつらつとゲームを楽しみ姿に、若さの素晴らしさを感じました。

親以上に年齢の違う地区参加者に負けまいと真剣勝負を挑む者もいました。短い時間

間ではありましたが、生徒の希望で行われている交流会が長く続くことを希望します。

開学記念会



指を切らないようにネ

11月14日(木)に男性料理教室が開催されました。男性6名の参加者を対象に、新村地区食生活改善推進協議会の会員が講師となり、豚肉の生姜焼きや小松菜の煮浸しなどの調理を行いました。塩と砂糖を間違えるお茶目な方もおり、和やかな雰囲気の中、参加者全員が楽しみながら調理をしていました。



11/22

ものぐさ大学 おでかけウォーキング

城北地区 11月22日(金)

氷点下の寒い朝、参加者22名で令和元年に国宝指定された旧開智学校校舎を訪ねました。学芸員の案内で擬洋風建築校舎、教育資料などを見学、当時使用

されていた小さい椅子に座り、授業のように説明を聞きました。少し歩き、市重要文化財の高橋家住宅(武家屋敷)を見学、質実な武士の暮らしぶりに触れ、現代の余りにも贅沢な暮らしに疑問さえも抱きました。昼食後、市美術館の長野県信濃美術館との交流展「日本画の冒険者たち」を鑑賞しました。作品はどれも素晴らしく、感嘆の声が聞けるほどでした。

シリーズ 私たちの先生



松本大学大学院 健康科学研究科教授 山田 一哉 先生

のようにして調節されるのかという生化学・分子生物学という分野を教えてください。また、糖尿病発症に関わるインスリンという物質が体の中でどのように作用しているのかについて遺伝子のはたらきという面から研究して

私、食物が体の中でどのように変化して血となり肉となるのか、それはどのようにして調節されるのかと分野を教えてください。また、糖尿病発症に関わるインスリンという物質が体の中でどのように作用しているのかについて遺伝子のはたらきという面から研究して

います。

私は大学がある新村地区に居住しています。新村は農地に囲まれており、雄大な北アルプスの山々を眺めることができ、自然豊かな地域でありながら、上高地線に乗ればわずか十数分で松本駅にも行ける立地の良さがあります。また、地区では町会や公民館活動やスポーツ大会等も活発に行われており、様々な面で地域の方々と交流することができ、充実した生活を送っています。この素晴らしい地域から日本全国や世界に向けて、学生や院生とともに研究に関する情報発信を続けていきたいと思っています。

松大生と交流

出張パティオにいむら



「パティオにいむら」大学へ進出！ 友人を誘おう！などの感想がありました。

男達の居場所「パティオにいむら」(いきいき部会)が12月11日(水)松本大学9号館の食堂に出張、地域住民と学生約50名が参加し交流を深めました。学食を食べた後はいつもの珈琲。参加者からは「こんな機会がなければ大学に入れなかった」「学生と話ができてよかった」「今度は友人を誘おう」などの感想がありました。

ニュースポフェス

IN 新村開催!!

11月17日(日)、芝沢体育館で第5回ニュースポフェスIN新村が開催されました。約70名の参加者は、ニュースポーツのほか、体力測定などで気持ちのよい汗を流していました。イベントの最後には、参加者前全員で直径9メートルのパラシュートを囲み持ち、息を合わせて虹色の布を大きく波打たせると、空中にボールが舞い、子どもからは大きな歓声が上がっていました。



12/10

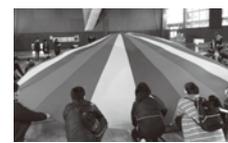
本郷地区

12月10日(火)

本郷地区を19名で訪ね、本郷公民館長による浅間温泉周辺のレクチャーを事前に受け温泉街を歩きました。

参加者は、住民が管理している小さな温泉などもあり、歴史ある街並みを楽しまました。

午後は、松本市立博物館を訪ねました。市周辺の歴史的资料や、上新東在住の新村隆史さんが発見した国の重要文化財である「孔雀文馨」の展示を見学。下新南在住の岩間基樹さんの屋敷から発掘された「板碑」の拓本の展示もありました。歴史文化都市松本を感じるいち日となりました。



舞い上がる風船 もっと高く

と、空中にボールが舞い、子どもからは大きな歓声が上がっていました。